

本部港中長期計画(仮称)の策定に係る背景と目的等について

- 平成12年に国において「沖縄県北部地域の振興の拠点となる港湾」が特定地域振興重要港湾として選定された。本県は研究会の指導助言のもと、平成14年に北部拠点港湾は本部港(旧本部港本港地区)で計画することを決定した。平成16年3月には、本部港(旧本部港本港地区)を活用した地域の振興・活性化の方針及び方策、そのために必要な港湾施設の整備内容を明確にした、「本部港港湾振興ビジョン」を策定している。「本部港港湾振興ビジョン」に基づき、北部地域の拠点港湾として、県、関係市町村が連携しハード・ソフトの取り組みを進めてきた。
- 「本部港港湾振興ビジョン」は策定から20年が経過し、同港を取り巻く環境も多様に変化している状況にある。
- この様な状況を踏まえ、本部港(4地区7箇所)における現在の課題や将来の方向性を含めて関係者で議論・検討を行い、本部港の中長期計画を策定する。
- 中長期計画(仮称)では、20年から30年先のビジョンを描いた上で、10年から15年先を目標年次とした施設の規模及び配置等を定める。



本部港中長期計画(仮称)検討委員会 スケジュール(予定)

